



7/25 思いの絵柄であんどんを制作 あんどん作りチャレンジ

あんどん作りチャレンジ(広瀬川まちづくり倶楽部主催)は、ボイス2階ギャラリーで行われました。同イベントは、10月3日に広瀬川せせらぎ緑道を中心に開催される広瀬川行燈夜祭に向けて実施。参加者は、火袋に思いの絵や模様を描きました。きょうだいで参加した佐藤柑奈さん(黒沢尻北小2年)と弟の綺世君(大通り保育園・4歳)は「飾られたら見に行きたい」と祭り当日を心待ちにしていました。



7/28 大舞台へ、生徒らが健闘を誓う 東北・全国大会への出場生徒が表敬訪問

東北・全国中学校体育大会に出場する生徒らは、船田教育長を表敬訪問しました。市内中学校7校と地域クラブ活動団体に所属する大会出場生徒の代表が、東北・全国大会に向けた決意を表明しました。陸上競技女子砲丸投で全国大会に出場する昆野さくらさん(北上中3年)は「支えてくださる皆さんへの感謝を胸に、全力で挑みたい」と決意を述べました。

7/22 市民や関係団体で守った6カ月 交通死亡事故ゼロ賞賛状伝達式

交通死亡事故ゼロ6カ月達成賞賛状伝達式は、市庁舎で行われました。7月11日をもって市内の交通死亡事故が6カ月間ゼロとなり、岩手県警察から市に賞賛状が伝達。北上警察署の山信夫署長から八重樫市長へ賞賛状が手渡されました。日山署長は「関係団体や市民の皆さんの活動の成果。引き続き交通事故の抑止に努めたい」と語りました。



7/26 身近な遊びでジェンダーを考える いわてジェンダーかるた大会 in きたかみ

いわてジェンダーかるた大会 in きたかみは、hoKKoで行われました。ジェンダー問題や多様な生き方を考えるきっかけとすることを目的に開催され、市内外から11人が参加。参加者はかるたを楽しみながら、札に書かれたジェンダーに関するエピソードを共有しました。高橋千春さん(奥州市)は「多くのことがジェンダー問題に関わっていると知ることができた」と話しました。



きたかみ



まちの話題

市内の話題を紹介

8/1・2 新たな防災気象情報の運用開始後、初めて市が避難指示を発令

大雨により各地で被害が発生

低気圧や前線の影響による岩手県南地域を中心とした大雨に伴い、気象庁から「レベル4 土砂災害危険警戒」が発表され、市は1日、災害対策本部を設置し、岩崎地区の土砂災害警戒区域等に避難指示を発令しました。

避難指示に伴い指定避難所1カ所、指定福祉避難所1カ所を開設。翌日、和賀地区の土砂災害警戒区域等にも避難指示を発令しました。気象庁が本年5月に新たな防災気象情報の運用を開始して以降、市が



避難指示を発令したのは今回が初めてです。

一連の大雨により、人的被害は発生しなかったものの、市内では法面崩落や、道路の冠水などが確認され、一部道路で通行止めの措置が取られました。



7/12 地域の活性化につながる 第33回樺山まつり

第33回樺山まつり(同実行委員会主催)は、稲瀬スポーツ交流館で開催されました。芸能団体の公演や特産品の販売に、市内外から多くの来場者でにぎわいました。ステージでは上台太鼓や門岡念仏剣舞などが多彩な演目を披露。同時開催の軽トラ市には地元産のトウモロコシなどが並びました。佐々木結乃さん(黒沢尻北小3年)は「ひつつみもかき氷もおいしかった」と笑みを浮かべました。

7/11 熱戦を繰り広げる 第1回北上市民ドッジボール交流大会

第1回北上市民ドッジボール交流大会(北上市スポーツ協会主催)は、トヨタ紡織東北サンシャインアリーナで開催されました。小学生から大人まで計20チームが出場。素早いボール回しや力強い投球で白熱した試合を展開しました。小学校1～3年生の部で優勝した黒東スーパードラゴンの広野友翔君(黒沢尻東小3年)と鈴木奏向君(同)は、「みんなで練習した成果が出た」と喜びました。

